

1 沼田の将来について

ただいまの やなぎ かりん 花梨議員のご質問にお答え申し上げます。

沼田の将来についてであります。まず、ご質問にありました将来の子どもや大人の人、お年寄りの割合についてご説明申し上げます。

国立社会保障・人口問題研究所が行っている将来人口推計によりますと、25年後の平成52年、2040年の本市の人口は3万6,207人となり、14歳以下が3,471人の9.5%、15歳から64歳までが1万8,035人の50.0%、65歳以上のお年寄りが1万4,701人の40.5%になるとしております。

また、議員ご意見のとおり、沼田市に転入される方と他の市町村に転出される方とを比較すると、転出される方が毎年200名程度多い、転出超過の状況となっております。

さて、議員ご質問の将来の沼田市の発展のために、どのような計画があるのかについてであります。本市の将来に希望を抱ける都市

像の実現を図るため、総合的なまちづくりの方針や施策の方向性を体系的に示すとともに、計画期間中の主要施策の考え方と方向性をより具体的に明らかにした計画として、総合計画があります。

現在の総合計画は、「水と緑の大地 田園空間都市」を将来像とし、恵まれた自然環境、豊かな田園空間の中で、地域間の連携や都市との交流を深めながら、住む人にとっても、また、訪れる人にとっても居心地のよい人間性豊かなまちづくりを目指すこととしております。

また、本年度、総合計画とは別に「沼田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」という計画を策定し、少子化や人口流出による人口減少社会の克服を図るための施策を講ずることとしております。

これらの計画を推進することにより、一人でも多くの方々に、^{やなぎ}柳議員のように本市を愛し、本市に住み続けたいと思っただけのようなまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

以上申し上げまして、^{やなぎ}柳 ^{かりん}花梨議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。